

3類型	鈹工業品	通巻番号	3-26-241
地域資源名	武州正藍染	認定日	平成26年2月2日
地域	埼玉県羽生市	所管省庁	経済産業省

事業名:カセ染めによる藍色グラデーション技術とそれを活かした藍染商品の開発・販売

会社名:小島染織工業株式会社

所在地:埼玉県羽生市大字神戸642-2

連絡先:TEL:048-561-3751

H P: <http://www.kojimasenshoku.com/>

FAX:048-561-4456

事業概要(新たな活用の視点)

武州正藍染はカセ染めの手法を用いた江戸時代より伝わる染織方法であり、半工業半手工業にて職人の技術を用いながら量産化を実現する藍染技術である。主に剣道着等に用いられてきたが剣道人口減少等により受注量は減少傾向にあった。

そこで小島染織工業株式会社は、武州正藍染の染織方法であるカセ染めの技術を応用して、1本の糸をグラデーションに染め上げることで、従来の藍染では表現できなかったデザイン性の高い生地を開発し、量産化を行う。



【カセ染めの様子】



【グラデーション生地の試作】

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

藍染にて1本の糸をグラデーションに染め上げる技術は他に類を見ないものであり、様々なデザインへの応用が可能となり、最終製品への多様なニーズに対応することができる。

◆市場性

若い世代へ訴求できる藍染商品は少ないため、この技術を用いた生地は国内外の様々なアパレルメーカーからの需要があり、最終製品としての応用が期待できる。

◆販路

地域の関連事業者への生地販売を皮切りとし、既存・新規取引先へと販売を行う。また、地域協力事業者と連携しながら、国内外の展示会に出展し、国内アパレルメーカーだけでなく海外への販路も開拓する。



【最終商品イメージ】

地域資源における関係事業者との連携

地域の関連事業者で連携体を構築して事業を進めて行く。開発面では藍染グラデーション生地の縫製や最終商品化にて協力を受ける。また、小島染織工業株式会社が確立した技術を藍染事業者と共有する。販売面では連携体にて展示会への出展等を行い、武州正藍染のブランドイメージを構築する。